

落穂会だより

社会福祉法人 **落穂会**
鹿児島市皆与志町 2503 番地

2019年
126号

障害児入所施設 あさひが丘学園 TEL 099-238-4821	障害者支援施設 あさひが丘 TEL 099-238-4821	地域生活支援センター あさひが丘 TEL 099-243-1112	障害者支援施設 旭福祉センター TEL 099-244-3551	障害福祉サービス事業 第二旭福祉センター TEL 099-244-3551
---	---	--	---	--

http://www.asahigaokagakuen.jp/
http://www.asahi-center.co



地域で豊かな生活を送る

平成三十一年六月、二つのグループホーム「朝陽丸」^{あさひまる}「夕陽丸」^{ゆうひまる}が岡之原町に開所します。これも、地域の皆様のご理解やご協力を得て、実現につながったものだと感じています。

落穂会の行事である秋まつりやワークショップ・バザー等の案内をし、地域交流の場として施設に多くの方々に足を運んで頂くとともに、私たち職員も、利用者と共に春山地区の行事に積極的に参加させて頂いております。神社や公民館の清掃、道路の草払い、棒踊り保存会、六月灯、運動会、初日の出登山、鬼火焚き等の行事参加は、利用者の皆さんも楽しみにしています。地域を盛り上げる為に、私たちに出来ることはないかを常に考え、利用者と共に準備の段階から参加することで、地域との一体感を培っています。

また、それぞれの班で定期的開催されている班会にグループホームの職員と利用者も出席しています。グループホーム四郎丸では、所属する地区の班会の会場として、ホームのリビングルームを提供しており、地域生活支援センターあさひが丘や旭福祉センターでも班会の会場として利用して頂いております。地域の方々にグループホームの生活に慣れてもらうことで、地域の方々とより近く接することは、利用者にとっても有意義な時間となっているようです。

春山地区では、郷土芸能棒踊り保存会が立ちあげられました。ふるさと祭りや、夏祭り等で披露する為、職員も練習に参加しています。演舞を見た利用者の中には、その姿にあらがれて一緒に参加したいと、意欲を見せてくれる利用者もいます。いずれ、一緒に参加できるようになれたらと思っています。

行事や班会等を通して、挨拶を交わし、話をさせていただく機会が増えました。今後も、地域の皆様と交流を深め、必要とされるよう利用者・職員共に、可能な限り参加・協力したいと思います。そして、いつか地域の皆さんと名前前で呼び合えるような関係構築を実現できたらと思います。



地域生活支援センターあさひが丘
グループホーム **福満彩加**

新入所者紹介

【あさひが丘学園】



相澤 夏 希さん

食べること、歌を聴くことが大好きです。よろしくお願ひします。



中野 和 真さん

お友達と仲良く楽しく過ごしたいです。よろしくお願ひします。



外 園 菜保美さん

早くみんなと仲良くなりなりたいです。よろしくお願ひします。



東 美 暁さん

みんなと仲良くなって楽しく過ごしたいです。よろしくお願ひします。



河内 聡 志さん

あさひが丘センターにきてだいぶなれてきました。ずっとここでみんなとなかよくせいかつたいです。はやくしごとをおぼえたいです。

新成人祝い

【あさひが丘学園】



笹川 拓 実さん

成人になったので、かつどうを頑張りたいと思います。

【旭福祉センター】

グループホームで暮らしていつてしゅうしよくをめざして一人でもなでできるよようにしていきたいです。

新 祐 輝さん

川田原 優 也さん

作業ではこうんきなどの機械をできるように体力をつけていきたいです。



東 湧 輝さん

二十才になってお仕事がんばっています。お給料をためて新幹線や飛行機で旅行に行きたいです。



米 盛 大 翔さん

あすもねで、毎日、仕事を、がんばっています。いろんな国や北海道に旅行に行きたいです。

ベーカリー 楓

新製品登場!!



サーターアンダギー 100円 (6個入)

一口サイズのかわいいサーターアンダギーです。

水を加えずに卵と砂糖をふんだんに使用しているので食べ応え充分!

おやつにいかがでしょうか?

お菓子のインスタグラムやってます。



ワークショップ

あすもね

ワークショップあすもねでは、現在「タイル」を使用した小物を制作しています。

鍋敷や写真立て、小物スタンド、鉢等、まだまだ作品の幅は狭いですが、みんながアイデアを出しながら、お客様に喜んでもらえる作品を制作中です。

地域生活支援センターあさひが丘正面玄関にて販売しておりますので、是非、一度足をお運びください。



行事報告

十一月

●22日(土) 春山11班忘年会
グループホームあさひが丘の利用者と職員で忘年会に参加しました。美味しい料理や飲み物を囲み、話も盛り上がりしました。

●1日(火) 丸岡山登山
暗いうちから大勢の地域の方々と丸岡山を登りました。曇り空でしたが、なんとか初日の出を見ることができました。

●11日(金) 新成人を祝う会
(鹿児島県知的障害者福祉協会主催)
あさひが丘3名、旭福祉センター2名の利用者が成人されました。あさひが丘の笹川さんは、新成人を代表して挨拶をするという大役を見事に務めました。緊張もありましたが、大きな喜びにつながりました。

●13日(水) 鬼火焚き
グループホーム利用者の年男による点火式にも参加できました。地域の方々と一緒にお餅を焼き、ぜんざいをおいしく頂きました。

●15日(火) 全国ナイスハートバザールin長崎
(アミュプラザ長崎)
長崎県内の障害者支援施設など29施設、県外から23施設が出展していました。旭福祉センターは菓子と陶芸品の販売を行いました。

●19~20日(土・日) 家族並びに施設職員研修会
あさひが丘では、例年通り保護者と職員で参加して来ました。他事業所のご家族との交流もあり、有意義な時間を過ごす事ができました。

●25日(金) KAYOフェスタ
あさひが丘では、今年も鹿児島養護学校で行われたバザーに参加してきました。日頃の活動の作品を沢山手にとっていただき、非常に興味を持ってもらえました。

●26日(土) グループホームあさひが丘上棟式
気温も低く、雪がちらつく中、新グループホームの上棟式に沢山の方が来てくれました。

●26日(土) あさひが丘保護者職員懇親会
あさひが丘17家族25名、職員21名で懇親会が行われました。

●27日(日) 旭福祉センター40周年記念 新年会
鹿児島サンロイヤルホテルで新年会を開催しました。利用者、保護者、職員合わせて178名が参加し、豪華な食事やカラオケ、抽選会等で大変盛り上がりしました。また、今回は旭福祉センター創立40周年記念として記念映像の上映、永年勤続表彰を行い参加者全員で祝いました。

平成三十一年一月

二月

●5日(火) 児童発達支援合同保護者会
児童発達支援センター歩路、ガーデンキッズセルク・トリア、こどもサポートセンターゆうひが丘(希路)から33名の保護者の参加がありました。言語聴覚士から「子どものことばを引き出す関わり方について」のテーマで講話をして頂き、その後グループに分かれての茶話会を実施しました。

●16日(土) 放課後等デイサービス合同保護者会
21家族23名の保護者の参加がありました。地域生活支援センター長による「子どもの理解と関わり方について」の講話、茶話会を実施しました。

●16日(土)~19日(火) 第31回ナイスハートバザールin鹿児島
山形屋にて開催され、旭福祉センターの花苗・菓子・陶芸を販売しました。販売を行った利用者の方はスーツに身をまとい、普段よりシャキッとした姿が印象的でした。

二月

●19日(火) 園外療育 児童発達支援センター歩路
17名の子ども達と「ブラッセだいわ」へ買い物学習に出かけました。

●24日(日) 春山ふるさと祭り
あいにくの雨模様でしたが、春山棒踊りの踊り、舞いに皆、見惚れていました。

●2日(土) 園外療育 ガーデンキッズセルク(母子分離療育)
30名の子ども達と吉野公園へ出かけました。公園でレクリエーションを行い、たくさん笑顔が多くなりました。

●3日(日)・10日(日) 旭福祉センター日帰り旅行
10人ほどのグループに分かれて鹿児島市内を巡りました。かごしま水族館や鹿児島市立科学館などそれぞれに出掛け、楽しい思い出になりました。

●6日(水) 園外療育 ガーデンキッズセルク(母子療育)
子ども13名、保護者14名の参加があり、水族館に出かけました。親子や保護者同士での会話がはずみ、楽しい時間が過ごせました。

●6~7日(水・木) 吉田南中学校職場体験学習
あさひが丘には、中学2年生4名の生徒が訪れました。始めは緊張の面持ちでしたが、利用者の皆さんや職員と交流する中で徐々に緊張も解け、笑顔も多く見られました。施設に対してとてもよい印象を持ってくれたとの話もあり、良い時間を過ごす事が出来ました。

●8日(金) 鶴丸高校施設訪問
総勢42名の1年生が訪問してくれました。それぞれあさひが丘や地域生活支援センターに分かれて利用者さんとの交流をしました。質問も多く、笑顔で交流する場面が印象的でした。

●8日(金) みつばちプロジェクト マルヤガーデンズ
ガーデンキッズセルク12名の子ども達に参加し、昨年、マルヤガーデンズ屋上で採取できたはちみつの試食を行いました。養蜂家さんに質問したり、巣箱を開けて蜂がいる様子を見たりと貴重な体験ができました。

●10日(日)~12日(火) 農福連携マルシェ2019「春の収穫祭」
鹿児島中央駅アミュ広場にて3日間開催されました。旭福祉センターで作った野菜や陶芸品・菓子の販売を行いました。雨の中での販売でしたがたくさんの方が足を運んでくださいました。

●14日(木) 園外療育 ガーデンキッズトリア
14名の子ども達と水族館へ出かけました。

●16~17日(土・日) ベーカリー楓 お菓子作り体験
詳細はP4をご覧ください

●23~24日(土・日) 吉野公園桜まつり・わくわくマーケット
ベーカリー楓でのパンや菓子、陶芸品の出店をしました。

●29日(金) 児童発達支援 閉級式
ガーデンキッズセルク29名、トリア9名、歩路19名、希路5名が卒園を迎えました。



平成三十一年度 社会福祉法人落穂会最重点目標

理事長 水流 純 大

一・中長期計画の策定
社会福祉法人落穂会は事業開始60年を迎え、事業規模が大きくなり多くの利用者を支えることが出来るようになった一方で、事業内容は複雑化し、事業運営に携わる人材も増えた。今後百年企業を目指す上では、単年度計画だけではなく、三年後・五年後を見据えた事業戦略を描き、法人としての「ものさし」をもつことが必須となる。経営幹部による中長期計画策定委員会を組織し、今年度中に中長期計画を策定することを目標とする。

二・職員必携書「共生と共創」の活用と行動化
昨年度は、法人各部署において職員必携書「共生と共創」の読み合わせを行い、内容の理解に努めた。今年度は、職員必携書の内容理解をより進めることと併せて、各職員が必携書に書かれている内容を「具体的に行動化」することを目標とする。

三・地域との関係形成と課題把握

法人行事の実施や地域行事への参加、バザー出店、町内会への参加、公開療育や幼保連絡会等関係事業所との連携、施設・設備の貸し出し、小中高生の体験実習の受け入れ、生活困窮者支援などへの取り組みにより、地域との関係はかなり深まってきた。今年度は、継続的な「より広くて深い関係性構築」を行うとともに、地域の抱えている課題を把握しながら、課題解決ができるようは速やかに実行することを目標とする。

かに実行することを目標とする。

四・人材育成

昨年度より「自ら考え、自ら行動できる職員」を目指し、現場主導の組織運営に取り組んできた。今年度は、「提案をもつて相談すること」「考える力」を育み、「挑戦の失敗は賞賛される組織風土」を醸成することで「行動する力」を組織全体で高めていくことを目標とする。また、育成する側は「若手職員にどんな仕事を任せていく」ことを人材育成方針の柱と置き、「育成意図をもった職務分掌」を目指す。

五・業務効率化による働き方改革の実現

法人として喫緊の課題は「業務効率化」である。限られた人員体制であるため、利用者にとって価値があるものを残し、無駄なものは無くしていかなければいけない。法人側は「働きやすい環境を支援できる仕組みづくり」を考え、導入することを目標とする。一方、各職員は「最大限の成果を最小の時間で実現する」ためにはどうすればいいのかを考え、挑戦していくことを目標とする。ここで、二つの面から「働きやすい職場づくり」を目指す。

あさひが丘学園
・あさひが丘学園
・障害者支援施設あさひが丘
・地域生活支援センターあさひが丘
・ガーデンキッズセルク・トリア
・こどもサポートセンターゆうひが丘
平成三十一年度 重点目標

統括施設長 水流 純 大
あさひが丘関係施設における今年度の重点目標は以下のとおりである。

一・情報共有の徹底を図り実行力を高める

①情報共有については、職員必携書の職務遂行上の留意点を基に、各部門の課題に合わせ具体的に目標を掲げ取り組む。
②各種会議については、議案の工夫や目的を明確にし、論点を事前に伝える事で職員からの活発な発言へ繋げ、決定事項を導き出す。
③会議での決定事項については、一週間以内に議事録を作成・回覧を行うと共に、各決定事項の担当者が実行スケジュールを立てる。進捗状況については、担当者と責任者が確認し合い確実な実行に繋げる。

二・職場環境の充実を図る

①職場環境の充実を図るための職員からの提案を募集する。チーム会議での提案をはじめ、職場環境改善提案ボックスを設置し職員からの自発的な提案が積極的になる機会を設ける。また出された意見に関してはスピーディーに対応し、対応状況については職員へ公開する。
②年次有給休暇を一人当たり年間十日以上取得することを目標とし、また、全職員が年一回以上六連休または四連休を二回以上とれるようにする。
③統括施設長と統括副施設長、副センター長が分担して年一回全職員と個別面談を行い、各職員が抱えている課題や仕事への取り組み姿勢等についての聞き取りを行うとともに、仕事に対する意欲を高められるようにアドバイスを行う。

三・リスクマネジメントへの取り組みを強化する

①万一の災害に備えて、必要備蓄品の品質管理(食物アレルギー対応食も含めた)を行う。また、訓練の中で現場職員による炊き出し訓練を行う機会を設ける。
②災害時、障害特性上(知的障害・自閉スペクトラム症等)配慮が必要な方について、訓練の中で備蓄品(簡易トイレ・非常食等)を使用する機会を設け、非常時の混乱が減少するよう努める。
③ヒヤリハット報告ならびに事故報告書の分析と手順を見直し、原因に対して具体的な対策を講じる。

四・新事業の円滑な運営と新たな事業展開のための施設整備を行う

①現在建設中の新たなグループホームについては、平成三十一年六月からの開設を目指す。また、障害者支援施設入所者の地域移行を図り、障害者支援施設の定員を五十二名から四十名に削減し、全室個室化を行う。
②平成三十一年度に申請予定のエネルギー使用合理化等事業者支援事業が採択された場合、障害者支援施設の空調設備の入替え工事を行う。
③障害者支援施設、地域生活支援センターの経費削減の一環として、太陽光発電設備の設置を行う。
④新たな作業棟の建設について、日中活動の体制変更を含めて検討を行う。



「えんぐ」



旭福祉センター利用者 中原 温子

かがくかんにいった。ほしをみま... きれいだった。いっばいみえた。はじめていった。たのしかった。どうぶつえんにいった。コアラがい... た。ねていた。おみやげにぬいぐるみ... をかった。コアラとホワイトタイガー... ハンバグをたべました。おいしか... った。たのしかった。なおこさんとむらやまさんと、どうぶつえんにいった。あるくのがつかれ... ました。たのしかった。

「学園での生活」

あさひが丘保護者 浦口 斉子

息子の直樹が学園に入所して、今年... で十七年になります。入所当時、直樹は十二歳でした。不... 眠とパニックが増え、私達は困り果て... ていました。体は私より大きいのですが、まだま... だ子供です。母親が育てないのは、息... 子にも、見えない世間にも、後ろめた... さはずっと続きました。約一年以上が過ぎた頃、肥満児だっ... た息子がスッキリしてきました。驚き... ました。主人も喜んでいました。睡眠... は不安定な時もありますが、自宅に居... た時よりずっと眠れるようです。日中... 参観に行くと、座って作業が出来るよ... うになってきました。周りが気になっ... て落ち着かない息子に、根気よく指導... して下さる職員皆さんのおかげです。良いきっかけになればと、乗馬教... 室、アニマルセラピーに参加させてい... ます。怖がっていましたが、慣れてき... て係の人から直樹は犬派だと教えても... らいました。この頃は、出血するまで... の自傷も見られなくなりました。関係... あるのかなと私は思っています。私達の病気で長く帰省出来ない時期... は、本当に助かりました。安心して治... 療に専念できました。ありがとうございます。

一人っ子なので、成年後見人の手続... きも済ませました。私に何かあれば、... すぐに後見人が入ってもらえるので安... 心しています。



あさひが丘学園職員 茶屋 知博

学園の季節ごとの行事は、直樹も楽... しみにしているようです。大変な息子... ですが、今後も宜しく願います。

「がぞく」

私には、妻と一歳の娘がいます。妻... と入籍してから一年半、娘が誕生して... 一年と半年が経とうとしています。今、私が毎日仕事に励むことができ... ているのは、間違いなく「家族のおか... げ」です。また、仕事をしている一番... の理由も「家族のため」であるといっ... ても過言ではありません。私だけでなく、... 家庭を持っている方は、ほとんどが私... と同じように思っているのではないかと... 感じます。そうは言っても、楽しい... こと、嬉しいこと、幸せなことはかり... が家庭生活ではないことは当然です。... むしろそうでないことの方が多いよう... に思います。とは言いましたが、ここからは本頁... 「さんほみち」になぞらえて、最近娘と... 散歩をした道中での出来事について、... 家族に対して感じた「想い」について少... し述べたいと思います。娘は一歳三ヶ月になり、最近色々... なことを覚え、見たこと、見たものを... 言葉にするようになりました。雀や鳥... の鳴き声が聞こえると「ピッピ」、カラ... スのことを「カーカー」、犬を見かける... と「ワンワン」、車は「ブーブー」、木や... 草を見つけると「ハッパ」と指をさして... 教えてくれます。普段はなかなか娘と... の時間を作れず、子育てのこと、家事... のことはほとんど妻に任せきりの私で... す。(もちろん、できることはやって... いるつもりですが... まだまだのよう... です...) そんな私ですが、この散... 歩中の娘との時間を通じ、娘の成長に... 対する喜びや幸せを感じると同時に、... 娘をしつかりと育ててくれている妻へ... 感謝の念を抱くのでした。私も社会人になり八年目を終えよう... としています。人... として、社会人と... して、夫として、... まだまだ未熟な私... ですが、日々鍛練... し、精進していき... たいと思います。



五. 利用者の権利擁護の取り組みを推進する

- ①各事業所に虐待防止マネージャーを配置し、人権侵害防止の取り組みを推進する。職員の人権擁護の意識の徹底を行う為に、「知的障害者施設の人権擁護ハンドブック」を活用した研修、ならびに「人権侵害ゼロへの誓い」と「人権擁護チェックリスト」を実施する。また、各部署内で課題となる点について改善シートを作成し、具体的な改善への取り組みを行う。
②各支援課長が成年後見制度の利用相談窓口となり、司法書士等と連携して、入所・通所・グループホーム利用者が成年後見制度を利用できるように支援する。
③児童虐待や障害者虐待の早期発見に努め、疑いのあるケースを発見した場合は関係機関と連携し、対応策を講じる。

旭福祉センター・第二旭福祉センター 平成三十一年度 重点目標

第二旭福祉センター施設長 水 流 健 一

- 一. 職員必携書の活用
①朝礼及び職員会議の場を活用し、職員必携書の読み込みを行う。
②職員必携書に関する具体的題目を年三回挙げ、感想文を提出する。以上、これらを実施することにより職員必携書の理解度を深める。

二. 地域密着型施設としての活動を推進

今年度も岡之原町内会の班会の会場として三班と十班の受け入れを実施予定。また、棒踊り保存会への出席を含め地域に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。また、各部署(入所施設・第二作業所・楓NODOKA・各グループホーム)は、それぞれの部署において近隣住民との交流を深め、地域が抱える課題の把握に努める。

三. 人材育成(職員育成制度の円滑な実施)

- ①作業班別育成シートの運用について、全作業班の育成シート運用を確実に実施する。また、実施状況の確認と今後の方策について作業委員会・育成担当職員との間で協議(三十一年十月以降に予定)し、継続的な育成シートの運用を図る。
②新人育成システムについて、特に入職直後から一年間のカリキュラムを確実に実施する。また、チューター制度の実施及び実施後のフォローアップ研修を確実に実行し、経験の少ない新人職員のケアと資質の向上を図る。
③先輩職員による現場でのOJTを積極的に推奨、後輩職員の育成に努める。
④中堅職員育成計画の三年目となる今年度は、スキルアップ研修とグループディスカッションをそれぞれ一回ずつ実施し、中堅職員の資質向上を図る。

四. 職場環境の充実

- ①ノー残業デー(毎週金曜日)を設け、ワーク・ライフ・バランスの充実を

五. 効率化

各作業班の作業マニュアルを再チェック、作業工程や機器導入等により効率化が可能な検討、改善を図る。

六. 利用者・家族へのニーズに合わせた質の高い支援の提供

- ①利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ利用者支援の向上を図る。また、権利擁護・虐待防止に関する研修・虐待防止ハンドブック等を活用した研修等を今年度も引き続き行い、充実した支援体制を確立させる。
②年三回の家族代表者委員会・毎年八月の家族総会・一月の新年会などを通じ、家族との連携を深める。また、福祉施策の動向について家族へ情報提供を行う。

七. リスクマネジメントへの体制づくり強化

- ①年二回の防災訓練と年一回の自主訓練に加え、新たに非常災害時の模擬訓練を年一回実施し、非常事態の備えに対応できる体制づくりを構築する。
②備蓄品(非常食と非常時の設備用品)の定期点検及び補充の実施を行う。

(各作業班別の重点目標)

Table with 2 columns: 作業班 (NODOKA, 楓(菓子班), 竹工, 蔬菜, 陶芸, 施設外就労, メンテナンス, 味噌) and 重点目標 (集客率アップ・接客サービス向上・新メニュー開発, 人材育成(育成シート活用・利用者スキルアップ)・協力的体制の確立, 協力体制の確立・人材育成・地域住民との交流, 手作り作品の充実と「3K」(軽い・可愛い・重ねやすい)の徹底, 各顧客との連携強化・利用者支援の強化・施設外就労の制度理解, 育成シート・研修を活用した人材育成, 育成シートの活用・関係部署との連携)

九. 各種作業部門 製販計画の達成

今年度も各作業班別 育成シートの完全実施を重点目標と定め、職員の能力向上を目指す。また、各作業班が策定した製販計画の達成を目指す。

八. 就労支援に関する情報収集・強化

- ①引き続き就労移行支援事業についての体制強化を図る。今年度は就労移行支援マニュアルの実施活用を図り、就労希望者のスキル向上に繋げることで、就労者一名の輩出を目標とする。
②旭福祉センター・第二旭福祉センターの双方にある就労継続支援B型事業の三十一年度目標工賃について月額二五、〇〇〇円以上を目標とする。



地域生活支援センター



いいことありますように。

初詣

鹿児島マラソン



がんばって完走するぞ！

ガーデンキッズセルク



砂あそびわくわくするね



何ができるかお楽しみ

旭福祉センター



新年会

40周年をみんなでお祝いました。



もちつき

地域の方も一緒に楽しみました。



目帰り旅行

キレイな魚がいっぱい。



みんなで一生懸命作った商品売れるかな？

あさひが丘



新成人代表として、立派に努めました。

ベーカリー楓 菓子作り体験教室

今回で6回目となるベーカリー楓の体験教室ですが、今回はクッキー&マフィン作りの体験を3月16日(土)・17日(日)の2日間開催し10組35名の方にご参加いただきました！参加者を募ったところ、すぐに定員に達し、ベーカリー楓の体験教室が浸透してきていることを嬉しく思います。

生地を混ぜるところから仕上げのデコレーションまでを行い、皆さんこだわりのお菓子ができあがりしました。ベーカリー楓やカフェNODOKAの紹介もさせていただき利用者の方の活躍の場を知ってもらう機会にもなったのではと思います。これからも皆さんに喜んでいただけるような体験教室等のイベントを定期開催していきたいと考えています。



児童発達支援合同保護者会



放課後等デイサービス合同保護者会

